



お月さん

金子みすゞ

夜あけのお月さん
山のきは。
籠に飼はれた白い鸚鵡、
ねとぼけお眼でひよいと見て、
おうやおや、お連れだ、呼ばうかな。
晝間のお月さん
沼の底。
麥藁帽子の子供が岸で、
釣竿かまへて睨めてた。
すてきだ、釣らうか、かかるかな。
日ぐれのお月さん
枝のなか。
くちばし赤い小鳥が一羽、
お眼くりくりみはつてた。
とつても、熟れたぞ、つつこかな。



「金子みすゞ全集」(JULIA出版局)

表紙の説明

子ども農山漁村交流プロジェクト

歌舞伎を通して交流

子ども農山漁村交流プロジェクトが、俵山地区で9月15日(火)から18日(金)まで行われました。これは、都会の子どもたちが農山漁村の民家に宿泊しながら、いろいろなことを体験するというものです。

今回、俵山地区にやってきたのは下関彦島の下関市立角倉小学校5年生59人。初日、児童らは俵山小学校を訪れ、俵山小学校の児童から歌舞伎体操や白浪五人男の台詞を教わるなどして交流を深めました。その後、受け入れ先民家で宿泊しながらゆずぎちの収穫など俵山ならではの体験をしました。



▲「白浪五人男」の台詞を練習

季節の写真

Photograph of season



夕焼け/油谷湾

編集後記

運動会シーズンですね。私も先日、子どもの通う小学校の運動会に参加しました。我が子に關してはどうやら私に似たように、ゴールテープを切ったり、リレー選手として脚光を浴びたりすることはありませんでしたが、遅かろうと速かろうと一生懸命にがんばる子どもたちの姿は、我が子に限らず見えていてもすがすがしいものでした。見ていた私も元気をもらったような気がします。▼ちなみに、次回の「広報ながと10/15号」にて、今年度で閉校する大畑小、伊上小、向津員中の運動会の様子を特集記事でお伝えすることになっています。子どもたちの一生懸命をぜひご覧ください(み)